



成田市公民館 ニュースレター

第2号

令和2年
2月18日発行

5月から9月までに行われた、公民館の講座の様子をお知らせします！

紹介する事業名 組紐教室(P1)、親子えびがに釣り教室(P2)、たけのこ親子広場(P3)、ベビーマッサージ教室(P4)、日本語ボランティア養成講座(P5)、教養講座 はじめての萬葉集(P6)、パン作り教室(P7)、ファミリーコンサート in 玉造(P8)

5月30日、6月6日・13・20日(木)「組紐教室」/中郷公民館

日本の伝統工芸が体験できる、組紐の講座を開催しました。

募集人数の10人を超える申し込みがありました。台座を確保してもらい、11人での開催となりました。最初は作業に不慣れで、紐を分けるのも一苦労でしたが、参加者は熱心に受講し毎回終了時間が延長するほどでした。ネックレスが出来上がった際には、嬉しそうに鏡を見たり、和気あいあいと話をしたりと和やかな雰囲気でした。



6月22日(土)「親子えびがに釣り教室」／公津公民館

前日の大雨により用水路の増水が心配されましたが、水位は下がっており、えびがにも流されていなかったため予定どおり教室を実施しました。また、事前の天気予報では雨が心配されていましたが、当日は雨がぱらつく場面があったものの、中断することなく最後まで実施することができました。

どの参加者も楽しそうに釣っており、その様子を近所にお住まいの方も見学に来るなど、終始なごやかな雰囲気で行われました。

小一時間えびがに釣りを楽しんだ後は、大物賞と大漁賞(1位は約150匹)の表彰をし、えびがにを飼える虫かごを贈呈しました。

この講座は公津下方地区のみなさまのご協力を得て長年実施してきた、公津公民館の特徴的な講座です。より多くの方に参加いただけるよう、来年度も工夫をして実施していきたいと思っております。



昨年までは豊住公民館にて「やまもも親子広場」として実施していた親子教室を、今年度から広い芝生のある八生公民館に場所を移し、八生公民館の名物である「たけのこ」を冠して「たけのこ親子広場」として新たにスタートしました。今回は実験的に土曜日に開催してみたところ、多くのお父さんの参加もいただきました。お父さんが参加することにより、特に水遊びの回では、子どもたちに混じって水をかけあう様子も見受けられ、事業全体の雰囲気も活気づきました。



今年度は移転初年度ということで4回の講座として実施しましたが、おかげさまで評判も良かったため、令和2年度はさらに充実させて開催していきたいです。



6月12日・19日・26日(水)「ベビーマッサージ教室」／中郷公民館

中郷公民館自慢の大きな和室を使って、赤ちゃんとお母さんとの触れ合いを深める講座です。

お母さんが赤ちゃんにマッサージを行い、リラックスした雰囲気の中で親子のスキンシップを取りながら、講師である助産師の先生の子育てアドバイスや災害時の対応など、興味深いお話を聞きました。

毎回、講座終了後はお母さん同士で気軽に育児のことを話し合ったり、講師に子育ての相談や質問をしている姿があり、子育てをしているお母さんのお役に立てた講座でした。



5月21日・28日、6月4日・25日、7月2日・9日(火)

「日本語ボランティア養成講座」／中央公民館

公民館主催講座「外国人のための日本語教室」で在留外国人に日本語を教えていただく日本語ボランティアを養成する講座です。定員を上回る23人の応募があり、ボランティアに対する市民の方々の意識の高さが伺えます。

当然、受講者のボランティアに対する意欲は高く、スタッフの一員としてこれからの活動につなげたい意気込みが強く感じられました。それと同時に、講座を聴講している中で、普段何気なく使っている日本語の難しさと、学習者とのコミュニケーションの重要性を改めて感じました。

講師の山下先生もソフトな語り口で好評でした。



7月27日、8月10日・31日、9月14日(土)「教養講座 はじめての萬葉集」

9月22日(日)「講演会 萬葉集と令和」／中央公民館

新元号発表により、上代文学、特に萬葉集への関心が高まっていることから、その要請に応えるため講座を開催しました。

定員を大幅に上回る応募があり、講師の岩田芳子先生（東京女子大学文学部日本文学
科助教）と相談の上、部屋いっぱいの36人で開始することとしました。

講座は萬葉集が4期に分けられるため4回の講義とし、毎回中心的歌人を据えて取り上げ、併せてその周辺の歌人の歌も学んでいく、という形式をとりました。第1回は額田王、第2回は柿本人麻呂、第3回は山上憶良と山部赤人、第4回は大伴家持と、萬葉集を知らない人でも名前を知っているような有名な歌人を中心にするこ
とで、はじめて萬葉集に触れる受講生の興味関心を呼び起こすことができたよう
で、受講生は毎回熱心に講師に質問をして、学習を深めていました。

講演会では、梅花歌序文の歴史的文化的背景を掘り下げた、若干専門的な内容であ
ったにも拘らず、受講者から多くの質問が出るほどで、台風の影響か若干予定よりも来場
者は少なかったものの、講演会としては盛況でした。



9月28日(土)・29日(日)「パン作り教室」／遠山公民館

今年度は定員を超える応募があり、抽選の結果定員12名での開催となりました。

1日目は、講師が用意したお手本の発酵生地で作る基本のパン(白パン・シナモンロール)を作った後、翌日焼くパン生地を各自作り、冷蔵庫で一晩発酵させました。

2日目は、前日に作成したパン生地を使い、応用のパン(オニオンロール・豆のパン・ベーコンのエピ)を作成しました。

器具やオーブンの数が限られていたが、各班参加者同士で分担・協力しながら作業を行い、概ね時間内に焼き上げることができました。試食の時にはお互いのパンを見ながら談笑したりして、パン作りを通して参加者相互の交流も図れました。

なお、作業がひと段落する生地の発酵待ちの時間帯には、参加者から自宅で作る際のポイントについて積極的に質問も出て、みな講師からの話に熱心に耳を傾けていました。



9月21日(土)

「第29回玉造音楽祭～ファミリーコンサート in 玉造」/玉造公民館

第29回となる今年は、玉造公民館を活動拠点にする「成田フィルハーモニー管弦楽団」や「玉造中学校吹奏楽部」をはじめ、ゲストとして、下総地区で活動するコーラスサークル「わらべ」、東京藝術大学大学院在籍のピアニスト「福田 優花」さんを迎えての開催となりました。

また、今年度のテーマ「玉造の歴史と文化」に沿った演目として、「玉造音楽祭実行委員」によるオリジナル朗読劇「千把ヶ池」が披露されました。

演目の中で、「成田市民歌」や「花は咲く」では来場者を含めた合唱があり、「ラデッキー行進曲」では客席に手拍子を求める演出があるなど、音楽を聴くだけでなく、実際に参加して「音楽」に触れることができる音楽祭となり、来場者にとっても有意義な時間を過ごせたことと思われま

